

◎ 聴読解問題スクリプト

Track 4

練習 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しい事を知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

Track 6

1 番 男子学生が、心理学の時間に知的好奇心について発表しています。この学生の歴史に対する今の知識量と知的好奇心は、グラフのどの部分として表すことが適切ですか。

人によって、「もっと知りたい」と思う分野は様々ですが、そんな知的好奇心は、そのことについて知っている知識量と大きく関係があると言われています。グラフはその関係を表したものです。

例えば、僕は歴史が好きで、高校生のころは学校の図書室にある本を片っ端から読んでいました。知識が少しずつ増えていくにつれ、ますますおもしろいと思うようになりました。しかし、知識が増えれば増えるほど知的好奇心も強まり続けるかという点、そうでもないようで、最近、前ほど面白いとは思わなくなりました。

つまり、知的好奇心というのは、ほどほどの知識があるときにもっとも強くなるものなのです。

Track 7

2 番 先生が、経営学の授業で、コンビニ経営の考え方について話しています。この先生が最後に説明するのは、資料のどの項目ですか。

日本のコンビニは、社会や消費者のニーズの変化に応じて発展してきました。また新たな出店や商品輸送において、きわめて効率性の高いシステムを確立したことも、コンビニ経営の特徴としてよく挙げられます。そのほか、近年ますます顕著になりつつあるポイントとして、独自の商品開発があります。例えば、お弁当のおかずについて、消費者による人気投票を行い、人気の高かったものを商品化して販売するといったことが行われています。また、先ごろの震災のときには帰宅できなくなった人がコンビニで連絡を取り合った

り、トイレを利用したりしました。いつでも開いている安心感や利便性を、地域の防犯や住民サービスに利用する動きは強まっています。

さらに、最近では、人気漫画と提携した商品キャンペーンなどが行われるようになりました。コンビニに行けば楽しいことがある、何か新しい発見があると考える人も多いようです。これは、特に若い人に見られる傾向です。

Track 8

3 番 先生が、複数の地方自治体が合併したことによる街の変化について説明しています。先生が説明している自治体は合併後、最終的にどのようになりましたか。

地方自治体の中には、行政サービスの効率化をはかるために、複数の自治体が合併して大きな自治体になるところがあります。今日は、三つの市が合併して一つの市になった、ある自治体の例を紹介しましょう。

もともとこれら三つの市には、市役所の周りを取り囲むように市街地が広がっていました。しかし、合併後は、これまでの市街地から離れた場所にまったく新しい市役所を設置して、これまでの市役所は支所に格下げしました。その結果、新しい市役所の周りには新しい市街地が形成されました。その一方で、もとの市街地はすべて衰退してしまいました。この地域には、新しい市街地とこれまでの市街地の両方を支えるだけの力がなかったのです。

Track 9

4 番 男子学生が女子学生に、自分達で企画した講演会のスケジュールについて相談しています。この男子学生は午後のスケジュールをどうすることにしましたか。

男子学生：ねえ、講演会のスケジュールを作ってみたんだけど、こんな感じでどうかな。

女子学生：あ、ちょっと見せて。ねえ、午後の研究発表だけど、発表時間はこれで足りるかしら。

男子学生：うん、できればたくさん時間をとりたいんだけど、あんまり遅くなるのもさあ……。

女子学生：それはそうよね。

男子学生：スケジュールの順番とか休憩の入れ方とかはどうかな？

女子学生：そうね。休憩が3時からかあ。時間的にはいいかもしれないけど、内容を見るとここで1回休みを入れたほうがいいんじゃない？

男子学生：なるほど、前半と後半で、調査地域が海外と国内に分かれるんだね。聞く人の立場に立つとそのほうがいいかも。じゃ、そう直しておくよ。ありがとう。

Track 10

5 番 先生が、慢性的なストレスが続いたときのストレスに対する抵抗力の変化について話しています。この先生の話によると、新たなストレスにも対応できるのは、図のどの時期ですか。

ストレスが慢性的に続くと、体にはいろいろな反応が現れます。例えば、血圧や体温が下がったり、筋肉が弱くなったり、胃が悪くなったりします。

この図は、あるストレスが慢性的に続いたときの、ストレスに対する抵抗力の変化を表しています。最初は「警告反応期」という時期ですが、これはさらに二つの時期に分けられます。一つめは「ショック相」です。急激なストレスを受けた直後は、ショックのため抵抗力が落ちます。次の、抵抗力が上がっていく時期が「反ショック相」です。ストレスが続くと、体は防御反応により、なんとかして悪い状態から抜け出そうとして抵抗力を増すのです。この時期は、新たなストレスを受けたとしても、抵抗力が下がることはありません。次の「抵抗期」は抵抗力が維持され、安定してストレスに対応できる時期ですが、新たなストレスには弱くなります。最後は「疲はい期」です。「疲はい」とは疲れきった状態のことです。ストレスが長く続くと、これ以上耐えられなくなり、最後には抵抗力がなくなってしまうのです。

Track 11

6 番 先生が、マーケティングの授業で、購入する商品の決定にかかわる態度について話しています。この先生が最後に挙げるタイプの人は、図のどこにあたりますか。

何か商品を買うとき、どんな選び方をしていますか。例えばテレビを買う場合、今まで使って満足しているメーカーのものを選ぶ人もいるし、メーカーにこだわらず、いろいろな情報を集めてから決める人もいますね。

この図を見てください。これは、購入する商品を決める際の態度を図式化したものです。横軸の、情報に対する積極性とは、情報を集めようとする意欲の強さを表し、縦軸のメーカーへの愛着心とは、あるメーカーに対する思い入れの強さを表しています。

いろいろな情報を集めてから買う商品を決める人のうち、特定のメーカーへの愛着心が強い人たちは、そのメーカーの商品について、一般には公開されていないような情報まで集め、しかもその商品について、好意的な発言をする傾向があります。

これに対し、特にメーカーにこだわらず情報を集める人たちは、商品そのものを客観的に評価するため、ほかの人からアドバイスを求められることも多いでしょう。

Track 12

7 番 先生が、ダンゴムシの脱皮について話しています。この先生の話によると、ダンゴムシはどのように脱皮しますか。

ダンゴムシという虫は脱皮を繰り返しながら大きくなっていきます。その脱皮の様子はとてもおもしろいです。まず、体全体の古い表皮が白っぽくなって浮いてきて、動きが鈍くなります。どんな虫でもそうですが、脱皮したばかりの新しい表皮はとても柔らかく、固くなるまでの数日間は敵からの攻撃にたちうちできません。そのためダンゴムシは、一度に全部の皮を脱ぐのではなく、半分ずつ脱皮するのです。さらに、皮を脱ぐ順番にも意味があります。ダンゴムシの前半分には大切な感覚器が集中しています。そこを守るために、先に後ろ半分を脱いで、後ろの脚が固くなってから、残り半分の皮を脱ぎます。そうすれば、体の大切な部分を危険にさらしている間も、敵が来たらすぐ逃げられるからです。

Track 13

8 番 女性と男性が、資料を見ながら話し合いをしています。この二人は四つの障壁のうち、どれとどれについて対策を話し合っていますか。

女性：ねえ、これ、この間読んだ本に出ていたんだけど。

男性：何？「体の不自由な人にとっての障壁」？

女性：ええ。今度私たちが開くコンサートでも、主催者としては、こういう障壁をつくらないように考えておかないといけないんじゃない？

男性：ああ、そうだね。ええと、具体的に、どういうことがあるのかなあ。

女性：まず会場に椅子を並べるとき、車椅子が通りやすいように通路の幅を十分にとらなくちゃね。

男性：なるほど。それはこの障壁をつくらないってことだね。あと、体の不自由な人は移動に時間がかかるかもしれないから、休憩時間もあまり短いといけないね。

女性：そうね。あっ、この障壁……、目の不自由な人はプログラムが読めないわよね。でも点字のプログラムを用意するなんて、今からじゃ間に合わないわ。

男性：んん……じゃあ、そのかわり、司会の人に、プログラムの説明を丁寧にしてもらったら？

女性：ああ、いいわね。そうすればプログラムの内容をわかってもらえるわね。

Track 14

9 番 先生が、民俗芸能について話しています。この先生が挙げた例は、図のどの部分からどの部分に変化しましたか。

人々の間に昔から伝わってきた踊りや歌、演劇などは、図のように、二つの軸で分けて考えることができます。縦の軸は、音楽や芸能が、なんのためにあるのか、その目的を示しています。横の軸が示しているものは聴衆意識です。つまり、歌い手や踊り手が他の人に「見せる・聴かせる」意識をどのくらい強く持っているか、見物人が「見る・聴く」意識をどのくらい強く持っているかということを表しています。

この二つの軸によって、民俗芸能はその性格から、四つの種類に分けられます。しかし、これは決して固定的なものではなく、一つの芸能が長い年月の間にその性格を変えることもあるのです。

例えば、ある地方に古くから伝わる踊りがあります。この踊りは、もともとは、その年の豊作を祈るための神事として行われていました。神に祈る踊りなので、この行事に参加するのは踊り手だけで、聴衆はいませんでした。しかし、ときがたち、農業技術の向上によって収穫量が増したころから、この踊りは神仏を離れ、人々が集まって楽しむための娯楽となりました。そのころの絵には、踊る人々とともに、それを見て楽しむ人々が描かれています。

Track 15

10番 先生が、凡人と達人の違いについて話しています。この先生の話によると、達人はどの図の状態に変化しますか。

どのような分野にも、その道を極めた達人と呼ばれる人がいます。一般の人を凡人とすると、凡人と達人はいったいどこが違うのでしょうか。

初めの状態は凡人も達人も同じです。練習や訓練を繰り返すことで、いずれも基本能力が大きくなっていきます。ただ、凡人の場合、到達すべきレベルとしての外枠そのものは変化しないため、ギャップが小さくなり、その時点で「だいたいできている」という達成感を味わってしまいます。しかし、達人の場合は、基本能力の成長に伴って、その都度、到達すべきレベルも高くしていくため、基本能力と理想的な状態とのギャップはさらに拡大されます。つまり、その道を極めれば極めるほどゴールが遠ざかっていくので、いっそう能力を磨くようになるのです。

Track 16

11番 先生が、だ液の作用について話しています。先生はこのあとどの作用について説明しますか。

皆さんは、だ液が食べ物を消化する際に重要な働きをしていることはご存じですね。今日は、消化以外にも、だ液が担っている重要な役割について話していきます。では、この図に示された6つの作用について、一つずつ見ていきましょう。

まず、わたしたちが食べ物を食べて、甘い、すっぱいなどの味覚を感じるのは、だ液が口の中で味覚を刺激する物質を溶かすことで、わたしたちに味を確認させているためです。まただ液は、人間が声を出すときに、舌や歯などをうまく動かすためのオイルのような働きをします。それから、虫歯の予防に役立つ作用が3つあります。食べ物のかすを洗い流す作用、歯の表面を守る作用、そして、口に入れたものが酸性でもアルカリ性でも、口の中でその度合いを一定に保つようにする作用です。では、最後に残った作用ですが、それ

をこれから説明します。

Track 17

12番 先生が、授業で、ネズミを使った空間探索の実験について話しています。実験2では、ネズミは何を手がかりにえさのある場所を探すのだと考えられますか。

ここに示したのは、実験に使う部屋を上から見た図です。実験1では白い壁の長方形の部屋を使います。この部屋のAの隅に食べ物を置いておき、ネズミに探させると、ネズミはすぐに食べ物のある場所を学習し、再びAの隅に食べ物を探しに行くことができるようになります。ここで、もともとどちらを向いていたかわからないようにすると、食べ物が置かれていたAの隅と、その対角にあるCの隅を同じ割合で探します。しかし、残りの隅、BとDを探すことはありません。

つまりネズミは、長い壁の左側、短い壁の右側となる隅に食べ物が置いてあるということを手がかりにして、食べ物のある場所を探すのです。

次に、実験2では、長さが短いほうの壁の一つを黒く塗っておき、その他は実験1と同じ手順で行います。すると、この場合も、ネズミはAとCの隅を同じ割合で探し、BとDを探すことはありません。ネズミは白と黒の区別ができないわけではありません。しかし、壁の長さや壁の色という、二つの手がかりを同時に使うことができないのです。

◎ 聴解問題スクリプト

Track 20

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらおう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 22

13番 女子学生と男子学生が、大学院について話しています。この男子学生は、大学院での勉強について、どんな点がいいと言っていますか。

女子学生：先輩、私も大学院に行くことを考え始めたんですけど。

男子学生：へえ、前は就職希望じゃなかったっけ？

女子学生：はい。卒論のためにいろいろ調べていたら、どんどん興味がでてきて。ただ、人気のある先生の研究室を選んだせいで、先生に相談の時間をとってもらうのも難しい状態で……。

男子学生：うん。

女子学生：大学院では研究室に所属する人数も減るだろうし、先生や先輩と意見交換しながら、もっと詳しく勉強を続けられるんじゃないかと思ったんです。

男子学生：なるほどね。

女子学生：先輩の研究室では、先生や先輩に教えてもらえる時間は多いですか。

男子学生：まあ、それは一概にはいえないかな。でも、うちの大学院には、同じ研究をしている別の大学院の研究室に行って、自分の研究内容について相談できる制度があるんだ。もちろん自分の先生の許可は要るけどね。

女子学生：へえ、そういう制度があるんですか。知りませんでした。

男子学生：色々な意見が聞けて、すごく勉強になるよ。

この男子学生は、大学院での勉強について、どんな点がいいと言っていますか。

1. 少人数教育であること
2. 同じ研究室の先生や先輩から指導を受けられること
3. 別の分野の勉強もできること
4. 別の大学院でも研究について学ぶ機会があること

Track 23

14番 先生が、口頭発表について説明しています。この先生は、口頭発表では聞き手も大切なのはどうしてだと言っていますか。

この授業では、毎回みなさんに交代で口頭発表をしてもらいます。発表の内容ももちろん重要ですが、発表のときの話し方や、発表の聞き方なども、体験を通して学んでもらいたいと思っています。

発表が成功するかどうかのカギは発表する人だけではなく、実は聞く人にもあります。聞き手が、発表する人に積極的にかかわろうとする、つまりメモをとったり、うなずいたりすることで、話し手はリラックスでき、持っている力を十分に発揮することができるのです。口頭発表では、このように話し手と聞き手の間の信頼に基づいた一体感が形成されることが、重要だと言えます。

この先生は、口頭発表では聞き手も大切なのはどうしてだと言っていますか。

1. 聞き手も、発表の準備の段階からかかわっているから
2. 聞き手も、人の発表を参考にしてほしいから
3. 聞き手の態度が、話し手の上手な発表の助けとなるから
4. 聞き手が集中していないと、発表の内容が理解できないから

Track 24

15番 先生が、モノづくりについて話しています。この先生は、日本の製造業者に対してどんな意見を持っていますか。

現代はモノがあふれているといっても過言ではないでしょう。しかし、いまだに「作れば作るほどもうかる」と考えている製造業者がたくさんいることも事実です。しかし、す

でに需要を満たしている商品を欲しがると人は、多くはいないでしょう。

商品というのは、品質がよくて、供給量が少なければ、その価値は高まり、値段が高くても売れるのです。どこにでもあるモノを作るのではなく、人が欲しがるとモノを作ろうという発想が必要です。大量に作って大量に売れた時代を経験した製造業者が、大量生産の意識を変えることは、難しいことでしょう。しかし、優秀な職人が一つ一つ丁寧に作っていたモノづくりの原点に戻ることも必要ではないでしょうか。

この先生は、日本の製造業者に対してどんな意見を持っていますか。

1. 大量生産をやめて、品質のよいモノを作るとよい。
2. 最新の設備を備えて、最先端の商品を作るとよい。
3. 需要に対して、品不足にならないようにするとよい。
4. 設備にお金をかけないで、安いモノを作るとよい。

Track 25

16番 二人の女子学生がサークルについて話しています。この二人は、明日何を見に行きますか。

学生1：もう何かサークルに入った？

学生2：うん。書道サークル。でもね、それは週1回だけだから、もう一つ何か別のサークルに入ろうかと思ってるの。佐藤さんは？

学生1：私？ 今、考えてるのは華道部。

学生2：華道って、生け花？

学生1：そう。高校のときも少し習ってたんだ。でも、英語もしたいから英語劇のサークルもいいかなって思うし、ちょっと迷ってるの。

学生2：あ、そういえば明日、ホールで茶道の実演するんだって。一緒に行ってみない？

学生1：お茶かあ。茶道って、お茶の飲み方とか決まってる、その通りにしなきゃいけないでしょ？ 私、そういうの知らないのよ。

学生2：平気、平気。部員募集のPRだから。ねっ、行こうよ。

学生1：うん、そうだね。

この二人は、明日何を見に行きますか。

1. 書道の実演
2. 華道の実演
3. 茶道の実演
4. 英語劇

17番 先生が、生物学の授業で、チョウという虫について話しています。この先生の話によると、チョウの飛び方にはどんなメリットがありますか。

美しい色や模様の羽を持っているチョウは、日本でも人気のある昆虫ですね。チョウは、羽を動かして飛び回りますが、体の大きさの割に、羽が大きくて薄いため、空気の流れに大きく左右されます。それでチョウは、まっすぐ直線的には飛べず、上下左右にひらひらと舞うように飛ぶわけです。飛んでいるチョウの羽は、角度によって羽の色や模様が見え隠れして、非常に目立って見えます。ただ、羽が目立つと、チョウをえさとする鳥の目にもつきやすくなってしまいます。しかし、鳥はスピードを出して直線的にしか飛べず、急に方向を変えることはできません。そのため、一見簡単に捕らえられそうなひらひらと舞うチョウは、鳥にとっては、そう簡単に捕らえることができないものなのです。

この先生の話によると、チョウの飛び方にはどんなメリットがありますか。

1. エネルギーを消費しにくい。
2. 空気の抵抗を受けにくい。
3. 天敵に見つかりにくい。
4. 天敵に捕まりにくい。

18番 男子学生と女子学生が、子どもの教育にかかわるボランティア活動について話しています。この女子学生は、活動のねらいは何だと言っていますか。

男子学生：夏休み、児童会館で子どもたち向けの科学教室を手伝ったんだって？

女子学生：自由研究のテーマ探しのお手伝い、ってところかな。テーマ探しの相談会を開いて、身近なことに関心を持てるような話をしたの。例えば、アリはどうやって土の中に巣を作るのか、とかね。

男子学生：そういう、身近なことから始める研究っていいよね。気づかないうちに知識が増えて、理科の成績が上がるんじゃない？

女子学生：そうね。結果としてそうなることもあるけど、それよりも、子どもたちが自分で考えて、観察したり調べたりして、新しい発見をする喜びを知ることが大事ななの。

男子学生：ふうん。

女子学生：イヤイヤ勉強するのと、ワクワクしながらするのでは大違いでしょう。その喜びが、科学への興味につながればってことなのよ。

男子学生：へえ、なるほどね。

この女子学生は、活動のねらいは何だと言っていますか。

1. 子どもにアリの巣の作り方を研究させること
2. 子どもの科学についての知識を確認すること
3. 子どもの理科の成績を上げること
4. 子どもに科学に対する興味を持たせること

Track 28

19番 先生が、スポーツ選手について話しています。この先生は、スポーツ選手の体の特徴についてどう言っていますか。

スポーツ選手は、心臓が強く、筋肉が発達しているということはよく知られていると思いますが、他にも生理的な特徴があります。スポーツ選手は、一般の人に比べて、同じ運動をした場合でも深部体温、つまり内臓や身体を中心部分の体温が上がりやすく、汗をかく量が多くありません。発達した筋肉が、熱を身体から逃がすのに役立っているからだと言われています。多量に汗をかくと、体内の水分量が減り、体液の浸透圧が上がります。そうすると、人は疲れを感じてしまうのです。スポーツ選手の体は、そうなりにくい仕組みになっているんですね。

この先生は、スポーツ選手の体の特徴についてどう言っていますか。

1. 体の中の水分量が少ない。
2. 運動後に汗をたくさんかく。
3. 運動後も体の水分量が減りにくい。
4. 一般の人より体温が高い。

Track 29

20番 先生と学生が学生の書いたレポートについて話しています。このレポートに足りなかったのはどんな内容ですか。

先生：このレポートなんだけど。

学生：はい。

先生：これは、ちょっと内容が課題とずれてるんじゃないかな。

学生：えっと、課題は「廃棄物処理の現状について」ですね。

先生：いや、レポートの課題は、「今まで授業で見てきた事例の一つを取りあげて、廃棄物処理の現状にどんな問題があるかを考察せよ」ということだったんだけど。

学生：ああ……。

先生：つまり、廃棄物処理の現状だけではなくて、取りあげた事例にはどんな問題点が認められるかということをも、それぞれ自分の視点から書いてほしかったんだよ。

このレポートに足りなかったのはどんな内容ですか。

1. 廃棄物処理問題の背景
2. 廃棄物処理の現状についての説明
3. 廃棄物処理の具体例に見られる問題点
4. 廃棄物処理問題についての解決案

Track 30

21番 先生が、機械の安全性について話しています。この先生は、最近では、どんなことが原因で起こる事故が増えていると言っていますか。

機械を使うときには、事故が起きないように、注意する必要があります。また、コンピュータ制御技術が発達した現在では、何か異常が発生すると、それをセンサーが感知して、機械を停止させる安全装置も使用されています。

安全装置には、異常と考えられる条件があらかじめ設定されていて、センサーが、その条件に合う事態を感知すると、機械の動作を止める仕組みになっています。しかし、「このような装置がついていれば安全」というわけではありません。はじめに条件を設定する際に設定を誤ることもありえますし、想定されていなかった事態が起こることもあるからです。

ですから、「コンピュータによって制御されているから安心」と、その機械やシステムを信頼しすぎて、機械を使う人間が注意を怠っていると、かえって危険です。最近では、そのようなことが原因で起こる事故が増えているのです。

この先生は、最近では、どんなことが原因で起こる事故が増えていると言っていますか。

1. 人間が機械に頼りすぎて注意しなくなったこと
2. 機械が複雑でセンサーが異常を感知できないこと
3. 機械を安く作ることが優先されて機械の安全性が落ちてきたこと
4. 機械に組み込まれた安全装置を人間が活用しないこと

Track 31

22番 ボランティアセンターの人が話をしています。この人は、ボランティアを長く続けるために必要なことは何だと言っていますか。

私たちは一人暮らしのお年寄りを訪ねて話を聴く、ボランティアの活動をしています。話を聴く姿勢で、基本となることは、自分の意見を言わないということです。そして、お年寄りを訪問したあとは事務所に戻って、必ずその日の報告をし、ちょっと心配なお年寄りがいれば、そのことを次の人に伝えてから帰るようにします。実はこの、活動のあとの報告というのは、報告するボランティア自身のためにも重要な意味を持っています。ボラ

ンティアは、お年寄りからさびしい気持ちを聴くと、それに影響されて、いっしょに落ち込んでしまうことがあります。それではつらくて、長く続けることはできません。しかし、その日のことを口に出して言うことで、担当したボランティアが、つらい気持ちを自分の中に抱え込まずにすむのです。

この人は、ボランティアを長く続けるために必要なことは何だと言っていますか。

1. 活動のあと、仲間にその日の報告をすること
2. 話を聴くときに、決して自分の意見を言わないこと
3. 担当者が連携してお年寄りに対応すること
4. お年寄りの身になって話を聞くこと

Track 32

23番 男子学生と女子学生が、スギという木について話しています。この男子学生は、どうして成長したスギを切ったほうがいいと言っていますか。

男子学生：先週末、環境問題に関するシンポジウムに行ったんだけどさ、面白かったよ。もっと木を切ろう、っていう話だったんだ。

女子学生：え、もっと木を植えよう、じゃないの？

男子学生：うん、それがね、木は二酸化炭素を吸収してくれるけど、日本でよく植えられているスギやヒノキは、樹齢が20年以上になると吸収する量がだんだん少なくなるんだって。

女子学生：じゃあ、ある程度成長したら切って、若い木を育てた方がいいのね。

男子学生：そう、そのほうが環境にもいいってわけ。それに、切った木は木材として利用できるしね。

この男子学生は、どうして成長したスギを切ったほうがいいと言っていますか。

1. 若い木よりも、木材としての価値が高いから
2. 成長した木は、あまり二酸化炭素を吸収しなくなるから
3. 林に木が多くなりすぎると、栄養が十分に届かないから
4. 若い木よりも、加工しやすいから

Track 33

24番 講師が、講演会で、会議での黒板などの使い方について話しています。この講師は、「報告」が中心の会議ではどんな書き方をするのがいいと言っていますか。

会議では、大きな黒板や白いボードなどに、話し合いの内容を書いて、参加者がそれを見ながら話を進めることがあります。会議の内容に応じて黒板やボードの使い方を変える

ことで、会議がうまく進むかどうかが変わってきますので、今日はこのことについてお話しします。

まず、アイデアを出し合う会議では、とにかく何でも書き出し、あとから見られるように、書いたものを消さずに進めていくと便利です。一方、何かの報告をする会議では、あらかじめ報告事項を書き出しておいたほうが話を進めやすいでしょう。また、何かを決定するような会議では、違う意見が出たときどこが違うかを示すようにします。

この講師は、報告が中心の会議ではどんな書き方をするのがいいと言っていますか。

1. だれもが読みやすい大きい字で書く。
2. 会議の前に要点を書いておく。
3. 出た意見を全部書く。
4. 異なる意見の相違点がわかるように書く。

Track 34

25番 先生が、商品のデザインについて話しています。この先生は、商品のデザインにおいて、もっとも大切なのは何だと言っていますか。

商品のデザインには時代性が重要だとよく言われます。その時代の人々の好みや流行を反映したデザインが求められます。ですから、デザイナーは当然時代に合った、あるいは今までに無かったような、時代を先取りしたものを作ろうとアイデアを練ります。今までと同じようなデザインのもものは、人々の買いたいと思う気持ちが刺激されにくいからです。しかし、そのことばかりに考えがいくと、大切なことを見失ってしまいます。ものは、そのあるべき姿を持っています。つまり、コップはコップであって、スプーンではないのです。デザインはそのものが持つべき機能を備えつつ、それをさらに際立たせるものでなければなりません。新しさを追求したり、凝りすぎるあまり、使いづらくなってしまうというのはありがちなことです。

この先生は、商品のデザインにおいて、もっとも大切なのは何だと言っていますか。

1. 伝統を大切にすること
2. 本来の用途を忘れないこと
3. 今までになかったものを作ること
4. 流行を取り入れること

Track 35

26番 先生が、生物の授業で、樹木の形について話しています。この先生は、樹木の形は、冬のどのような環境に影響されると言っていますか。

山道を歩いていると、枝の張り方がそろっていない樹木に出会うことがあります。どんな形かという、木の下の方は四方に枝がそろっているのに、上の方は一方向だけに枝があるというものです。

このような木の形は、冬の厳しい環境によって作られます。木の高い所は、冬の冷たい風にさらされて、風が直接当たる側の枝の芽が死んでしまいます。このため、春に枝が出るのは風が直接当たらない側だけになってしまうのです。一方、木の低い所は、冬の間、雪に埋もれています。雪の中は、風の吹き荒れる外に比べると温度が高く、新しい芽が枯れることはありません。雪が積もる高さまでは芽が守られていますから、下の方は、四方に枝を張る形になるわけです。

この先生は、樹木の形は、冬のどのような環境に影響されると言っていますか。

1. 雪の量と風の方向
2. 雪の量と気温
3. 日当たりと風の方向
4. 気温と山の高さ

Track 36

27番 先生が、言葉の伝わり方について話しています。この先生が話している実験で、言葉が思ったとおりに伝わらなかったのはどうしてですか。

私たちが話す言葉は、思ったとおりに聞き手に伝わっているのでしょうか。それを確かめるために次のような実験を行いました。

一人が運動選手の役、もう一人は命令するコーチの役をします。命令は、例えば「ひざを曲げろ」といった言葉だけで、身振りを加えながら伝えることはできません。そして、選手役は、命令された言葉に反応して、その通りに動かなくてはなりません。

この実験で、コーチ役が、選手役の体全体を横に向けたいと思って、「横を向け」という命令をしました。ところが、選手役は、顔を横に向けただけで体は動かさませんでした。言葉だけで人を動かすのは、このように意外に難しいということがわかります。自分が発した言葉が、思ったとおりに相手に受け取ってもらえるとは限らないのです。

この先生が話している実験で、言葉が思ったとおりに伝わらなかったのはどうしてですか。

1. 選手役が命令をよく聞いていなかったから
2. 命令通りに体を動かすのが難しかったから
3. 命令には複数の解釈があったから
4. 命令に使われた言葉が難しすぎたから